

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 9 日 (2006.11.9)

【公表番号】特表 2006-500119 (P2006-500119A)
 【公表日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-001
 【出願番号】特願 2004-538371 (P2004-538371)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 2/24 (2006.01)

A 6 1 B 17/04 (2006.01)

A 6 1 F 2/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/24

A 6 1 B 17/04

A 6 1 F 2/06

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 15 日 (2006.9.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者への人工弁の移植を容易にするための縫合鋳型であって、該縫合鋳型は、：

複数の交連部分および複数の尖部分を有する環状本体であって、該複数の交連部分は、該複数の尖部分を利用して互いに結合して開口部を有する輪を形成する、輪状本体、
 を備える縫合鋳型であって；

ここで該複数の交連部分の各々一つは、該尖部分から伸長する一対の直立のアームを備え、該アームは結合して先端部を形成し、そして該アームは、該アームの間に縫合系を受けるための、細長く下方方向に開口するノッチを規定する、縫合鋳型。

【請求項 2】

各尖部分が、縫合系を受けるためのノッチを備える、請求項 1 に記載の縫合鋳型。

【請求項 3】

前記尖部分から伸長する前記複数の交連部分が、3 つである、請求項 2 に記載の縫合鋳型。

【請求項 4】

前記交連部分についての前記ノッチが、前記尖部分についての前記ノッチよりも長い、請求項 2 に記載の縫合鋳型。

【請求項 5】

前記尖部分は、凹面をなした上面を有し、そして各交連部分についての前記ノッチは、隣接する尖部分の凹面をなした上面の最下点より上で上方へ伸長する、請求項 2 に記載の縫合鋳型。

【請求項 6】

各尖部分の前記ノッチが、二つの交連部分の間の中央に位置する、請求項 2 に記載の縫合鋳型。

【請求項 7】

各尖部分の少なくとも一つのさらなるノッチが、それぞれ中央に位置するノッチと各交連

部分についての前記ノッチとの間に位置する、請求項 6 に記載の縫合鋳型。

【請求項 8】

各尖部分は、放射状に内側に向けられたレッジを規定する下端を有する、請求項 1 に記載の縫合鋳型。

【請求項 9】

各尖部分は、放射状に内側に向けられたレッジを規定する下端を有し、そして該レッジは、各尖部分の前記ノッチの両側に位置する、請求項 2 に記載の縫合鋳型。

【請求項 10】

前記ノッチが、下方に開口するノッチである、請求項 2 に記載の縫合鋳型。

【請求項 11】

前記ノッチが、上方に開口するノッチである、請求項 2 に記載の縫合鋳型。